

# 教育課程の展開例を活用したタブレット活用のアイデア

## 1 活用した教育課程の展開例 → 特1-3

## 2 展開例を活用したタブレット活用のアイデア

- ① 事前に自分の考えをもたせロイロノートを使い、テキストで記入し、提出箱に提出させておく。  
提出箱の共有をすると、児童が互いの意見を知ることができる。

### 学級活動(1)「学級や学校における生活づくりへの参画」の展開例③

題材名「おたのしみかいのけいかくを立てよう」(12月)

活用なまかなビジョン

- 本時の目標**  
みんなが楽しく遊んで、2学期の思い出を振り返ることができる集会の計画を立てることができる。【思考・判断・表現】
- 事前の活動**  
教師の指導の下、計画委員(司会グループ、提案者)が議題、役割(司会、副司会、黒板書記、ノート書記)、提案理由を検討し、決定する。また、集会でやりたいことを事前に児童に考えさせておく。
- 準備** 司会原稿、提案理由の原稿、賛成・反対を示すマグネット、短冊
- 指導過程**

学習活動	指導上の留意点
1 はじめの言葉	○ 事前に司会原稿、提案理由の原稿を用意しておく、児童が自信をもって臨めるようにする。
2 司会グループの紹介	○ 司会議題は『おたのしみかいをしよう』です。
3 議題、提案理由の発表	○ みんながより仲良くなるために、2学期を振り返りながら遊びましょう。
4 話合いのめあてと進め方の確認(めあてをつかむ)	○ みんなが楽しめる会にするための遊びを考えましょう。その後、その会を進めるために必要な係を考えましょう。
5 話合い	○ 「何をやりたいか」事前に考えたことを想起させ、「みんなが楽しめるか」で吟味させる。 ○ 生活班で話し合い、アイデアを短冊に書かせて黒板に貼った後、賛成意見や反対意見を出させ、めあてに沿った内容に絞る。 ○ 十分に話し合ってもまとまらなかった場合は「多数決をとる」「もう一度話し合う」などの方法を助言し、今後の決め方を話し合わせる。 ○ 集会に必要な役割については、生活班の数だけ出させ、生活班で分担できるようにすることで、今後の活動に取り組みやすくする。
6 決まったことの発表	
7 先生の話	○ 話合いのめあてに沿った意見を発表することができた児童を紹介し、認めるようにする。
8 終わりの言葉	

- 5 事後の活動 朝の会、休み時間を使って生活班ごとに準備を進めさせる。

特1-8

- ② 事前にロイロノートに残した、自分の考えを見ながら発表する。

- ③ 1つに決める際に、初めに自分が選んだ意見をロイロノートのテキストの色で選んで提出する。  
意見が変わったら新たに提出しなおしていく。

## 3 タブレット活用の有効性について

- ① 事前に意見を集約する際に、ロイロノートの提出箱に提出させることで、教師が見るだけでなく、共有をすれば児童同士も互いにどのような意見をもっているのかを知ることができる。
- ② 事前に考えた意見を見ながら発表することができるので自分の考えを安心して発表することができる。
- ③ ロイロノートのテキストの色によって意見を分けることで、発言することが苦手な児童もどのように考えているのかの意思表示をすることができる。何度も提出をすることが可能なので、意見を聞いて変えていくことが可能となる。